

ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムのメンテナンスレポート

床材の性質

- 従来のリノリウム(ポリウレタン表面加工処理されていないリノリウム)と比較し、耐摩耗性に優れる。
- 吸い込みはほとんどない(ただし、床表面のポリウレタン層が摩耗されると、吸い込みが非常に多くなる)。
- 紫外線(自然光の照射)により、退色する場合がある。
- 樹脂ワックスの密着性および耐水密着性(水などの影響による樹脂ワックスの剥がれにくさ)に劣る。
- 耐洗剤性に劣る。
- ※アルカリ性ハクリ剤によって変色することがある。

メンテナンスポイント&注意点

ポリウレタン表面加工処理されたリノリウムは、樹脂ワックスの密着性(特に耐水密着性)に劣るため、この種の床材に対し、密着性(耐水密着性)に優れた樹脂ワックスを選定しなければなりません。

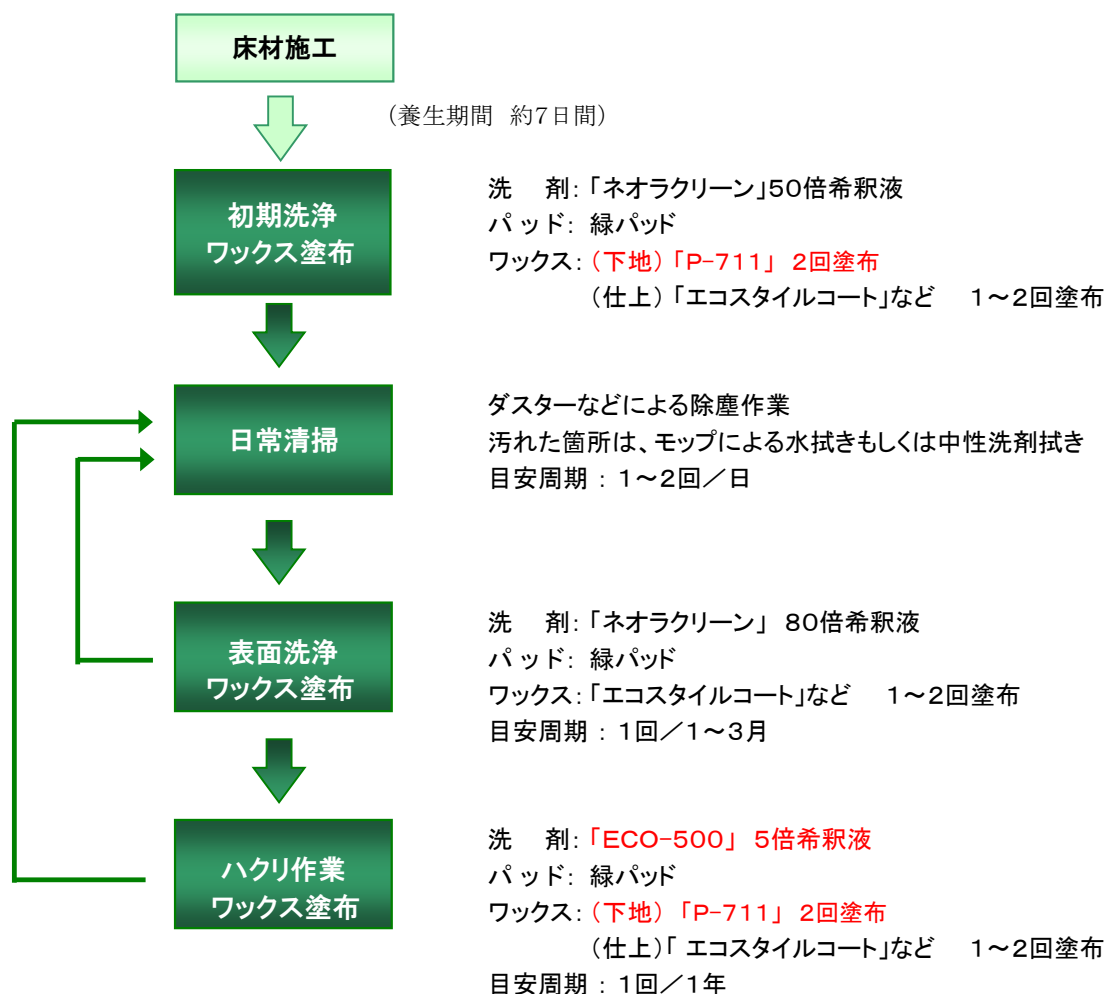
したがって、必ず密着性に優れた「P-711」を下地に塗布してから、仕上用樹脂ワックスを塗布します。

また、リノリウムはアルカリ性ハクリ剤で変色しやすい床材のため、ハクリ作業の際は中性ハクリ剤「ECO-500」を使用します。

仕上用樹脂ワックスとしては、中性ハクリ性でも除去可能な(ハクリ性に優れた)「パーモソフトテカ」「エコスタイルコート」「パーモスタープロEX」などを使用します。

なお、病院現場の場合は、アルコール系手指消毒剤によるワックス皮膜の白化が起きやすいので、耐アルコール性に優れた病院用樹脂ワックス「ハイパーアルテクト」を使用します(「ハイパーアルテクト」はリノリウムに対する密着性に優れるため、「P-711」を下地に塗布する必要がありません)。

メンテナンスサイクル例



メンテナンスポイントおよび作業方法

初期洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 床材施工後の養生期間を置いてから、本作業を行います。
- 床材表面に床材施工に用いた接着剤跡がある場合は、きちんと除去します。
- 引き渡し清掃などで既にワックスが塗布されている場合は、密着および耐水密着テストを行い、もし密着していない場合は、中性ハクリ剤でハクリ作業を行ってからワックスを塗布します。
- 巾木に付着した洗浄污水は、乾く前にタオルで水拭きします。
- 下地に密着性および耐水密着性に優れた「P-711」を必ず2層塗布します。
※下地剤の塗布が1層だけだと、十分な耐水密着性が得られない場合があります。
- 仕上用の樹脂ワックスは、ハクリ性に優れたものを選定します。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用＞

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

養生

＜養生マスキングを使用＞

- ・必要に応じ、養生マスキングを用い、什器などが汚れないように養生します。

洗剤塗布

＜洗剤用モップ、床洗剤「ネオラクリーン」を使用＞

- ・「ネオラクリーン」50倍に希釈し、洗剤用モップで塗布し、約5分間放置します。
- ※洗剤を希釈する際は、計量カップなどもを用い正しく希釈します。

洗浄

＜ポリッシャー、緑パッドを使用＞

- ・ポリッシャーに緑パッドを取り付け、かけムラの無いよう丁寧に洗浄します。
- ※洗浄污水の飛散防止のために飛散防止カバーをポリッシャーに装着します。
- ※ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。

汚水回収

＜吸水バキューム、フロアスクイジーを使用＞

- ・洗浄後は、速やかに洗浄污水を回収します。
- ・壁際やコーナー部の污水は、フロアスクイジーを使用します。

水拭き

＜水拭き用モップを使用＞

- ・床面が乾燥する前に、水拭き用モップで3回水拭きします。
- ※モップが汚れたら、早めに交換します。
- ※面積の広い現場では、自動床洗浄機による水洗浄が効果的です。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。

樹脂ワックス塗布

＜ワックス用モップ、樹脂ワックス(下地:「P-711」、仕上:「エコスタイルコート」など)を使用＞

- ・ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しの無いよう塗布します。
- ※塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行ないます。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。
- ※塗布直後(ワックスが濡れているうち)は、直接床面に風は向けず、最初は上に向けてワックスが乾きだしてから徐々に床面に向けるようにします。

日常清掃

ポイント

- 帯電モップは帯電剤が床面に移り、汚れの原因となることがあるので使用は避けます。
- ヒールマーク汚れは、モップなどで擦り落とします。
- 洗剤を使用する場合は、樹脂ワックスに影響のない中性洗剤を使用します。
- 雨天時は、雨水による汚れや滑りによる転倒防止のため、雨天時用マットを設置し、持ち込まれた雨水や土砂は早めに取り除きます。
- 広い面積の現場は、自動床洗浄機による洗浄が効果的です。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用＞

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

モップ拭き

＜水拭き用モップ、必要に応じ中性洗剤（「NEWプロインパクト中性」など）を使用＞

- ・汚れた箇所やヒールマーク汚れは、モップで拭き取ります。
- *油汚れが多い現場は、中性洗剤（「NEWプロインパクト中性」50倍希釈）を使用します。

表面洗浄・ワックス塗布作業

ポイント

- 光沢の低下や汚れが目立ってきたら、本作業を行います。
- 洗剤を希釈する際は、計量カップなどを用い正しく希釈します。
- ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。
- ポリッシャー洗浄でも落ちないヒールマーク汚れは、ハンドパッドで擦り落とします。
- 床表面が平らでなく不陸がある場合は、ポリッシャーで洗浄する際、横方向だけでなく、縦方向にも掛けます。
- 巾木に付着した洗浄汚水は、乾く前にタオルで水拭きします。
- ワックスを塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行います。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用＞

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

養生

＜養生マスキングを使用＞

- ・必要に応じ、養生マスキングを用い、什器などが汚れないように養生します。

洗剤塗布

＜洗剤用モップ、床洗剤「ネオラクリーン」を使用＞

- ・「ネオラクリーン」を80倍に希釈し、洗剤用モップで塗布し、約5分間放置します。
- ＊洗剤を希釈する際は、計量カップなどもを用い正しく希釈します。

洗浄

＜ポリッシャー、緑パッドを使用＞

- ・ポリッシャーに緑パッドを取り付け、かけムラの無いよう丁寧に洗浄します。
- ＊洗浄汚水の飛散防止のために飛散防止カバーをポリッシャーに装着します。
- ＊ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗いします。

汚水回収

＜吸水バキューム、フロアスクイジーを使用＞

- ・洗浄後は、速やかに洗浄汚水を回収します。
- ・壁際やコーナー部の汚水は、フロアスクイジーを使用します。

水拭き

＜水拭き用モップを使用＞

- ・床面が乾燥する前に、水拭き用モップで3回水拭きします。
- ＊モップが汚れたら、早めに交換します。
- ＊面積の広い現場では、自動床洗浄機による水洗浄が効果的です。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。

樹脂ワックス塗布

＜ワックス用モップ、樹脂ワックス(「エコスタイルコート」など)を使用＞

- ・ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗布し残りのないよう塗布します。
- ＊塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから(ベタツキ感がなくなってから)行ないます。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。
- ＊塗布直後(ワックスが濡れているうち)は、直接床面に風は向けず、最初は上に向けてワックスが乾きだしてから徐々に床面に向けるようにします。

ハクリ・ワックス塗布作業

ポイント

- 表面洗浄作業では、汚れが落ちにくくなったら、本作業を行います。
- ハクリ作業を行わない場所との境や、什器下に汚水が流れ込んでしまう場所は、養生マスキングで養生します。
- 中性ハクリ剤「ECO-500」を必ず使用します。**
 - ※アルカリ性ハクリ剤を使用すると、リノリウムを変色させてしまうことがあります。
- パッドは、リノリウムを摩耗させないよう緑パッドを使用します。
- ハクリ後（ポリッシャーがけ後）の汚水は、乾く前に素早く回収します。
- ハクリ後（汚水回収後）に水洗浄を行うと、ハクリ剤成分を完全に取り除け、ワックスの仕上がりが良くなります。
- 下地に密着性および耐水密着性に優れた「P-711」を必ず2層塗布します。
 - ※下地剤の塗布が1層だけでは、十分な耐水密着性が得られない場合があります。
- 仕上用の樹脂ワックスは、ハクリ性に優れたものを選定します。

作業手順

除塵・粗ゴミ除去

＜ダスターや自在ホウキ、チリトリを使用＞

- ・ダスター等を用い、除塵作業を行います。

養生

＜養生マスキングを使用＞

- ・養生マスキングで、作業場所との境や汚水が流れ込むような什器下に養生します。

ハクリ剤塗布

＜ハクリ剤用モップ、ハクリ剤「ECO-500」を使用＞

- ・「ECO-500」を5倍に希釈し、ハクリ剤用モップで塗布し、約5分間放置します。
- ※ハクリ剤を希釈する際は、計量カップなどもを用い正しく希釈します。

ハクリ洗浄

＜ポリッシャー、緑パッドを使用＞

- ・ポリッシャーに緑パッドを取り付け、かけムラの無いよう丁寧に洗浄します。
- ※洗浄汚水の飛散防止のために飛散防止カバーをポリッシャーに装着します。
- ※ポリッシャーが当たらない壁際などは、ハンドパッドで擦り洗います。

汚水回収

＜吸水バキューム、フロアスクイジーを使用＞

- ・ハクリ後は、速やかにハクリ汚水を回収します。
- ・壁際やコーナー部の汚水は、フロアスクイジーを使用します。

水洗浄 → 水拭き

＜ポリッシャー、吸水バキューム、水拭き用モップを使用＞

- ・ポリッシャーで水洗浄を行い、吸水バキュームで汚水を回収します。
- ・床面が乾燥する前に、水拭き用モップで2回水拭きします。
- ※面積の広い現場では、自動床洗浄機による水洗浄が効果的です。
- ※モップが汚れたら、早めに交換します。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。

樹脂ワックス塗布

＜ワックス用モップ、樹脂ワックス（下地：「P-711」、仕上：「エコスタイルコート」など）を使用＞

- ・ワックス用モップで樹脂ワックスを均一に塗り残しの無いよう塗布します。
- ※塗り重ねる際は、十分に乾燥させてから（ベタツキ感がなくなってから）行ないます。

乾燥

＜送風機を使用＞

- ・送風機を用い、床面を乾燥させます。
- ※塗布直後（ワックスが濡れているうち）は、直接床面に風は向けず、最初は上に向けてワックスが乾きだしてから徐々に床面に向けるようにします。